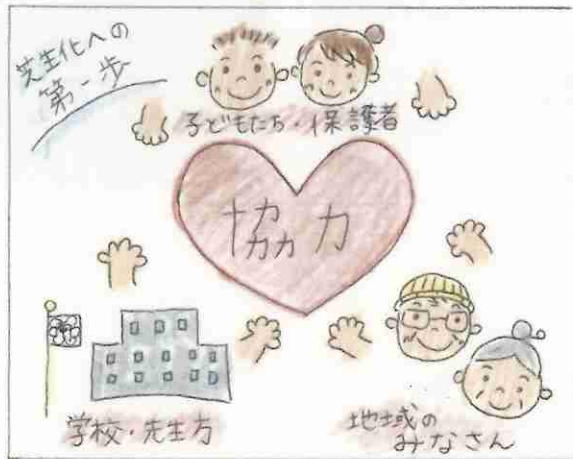


芝生のあゆみ



そこで
東京都公立学校運動場芝生化補助事業へ
申請



2008年秋 完成!!



芝生カレンダー

4

新学期
スタート!



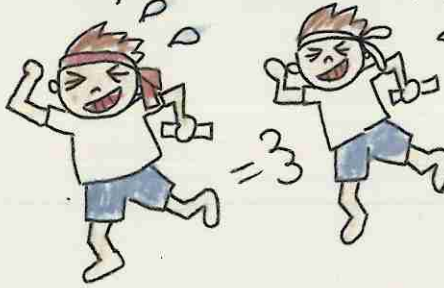
芝刈り開始

5

運動会



フカフカの芝生でリレーにダンス!!



6

お父さんの参加も
お待ちしております!!



水分補給を忘れずに!!

8

スプリングラ-



雨水を100cc貯めて
水まきをしているよ!



夏芝
緑がとてもきれい

9

エコスポまつり

フカフカの芝生で
いろいろなスポーツを
楽しむよ

サッカーのお友だち



ボーイスカウトのお友だち



いつもお手伝い
ありがとう♡



10

みんなの大好きな芝生のひみつ
芝生の広さは
東京ドームの半分もあるよ

☆芝作業お休み期間☆

冬芝へ
冬芝生種まき
おぼろぎの後は4週間養生するよ

11



不安の枝剪定



2 側溝そらじ

養生シート



12

おやじの会のみなさん
が中心となり
芝刈り機等の
メンテナンス!

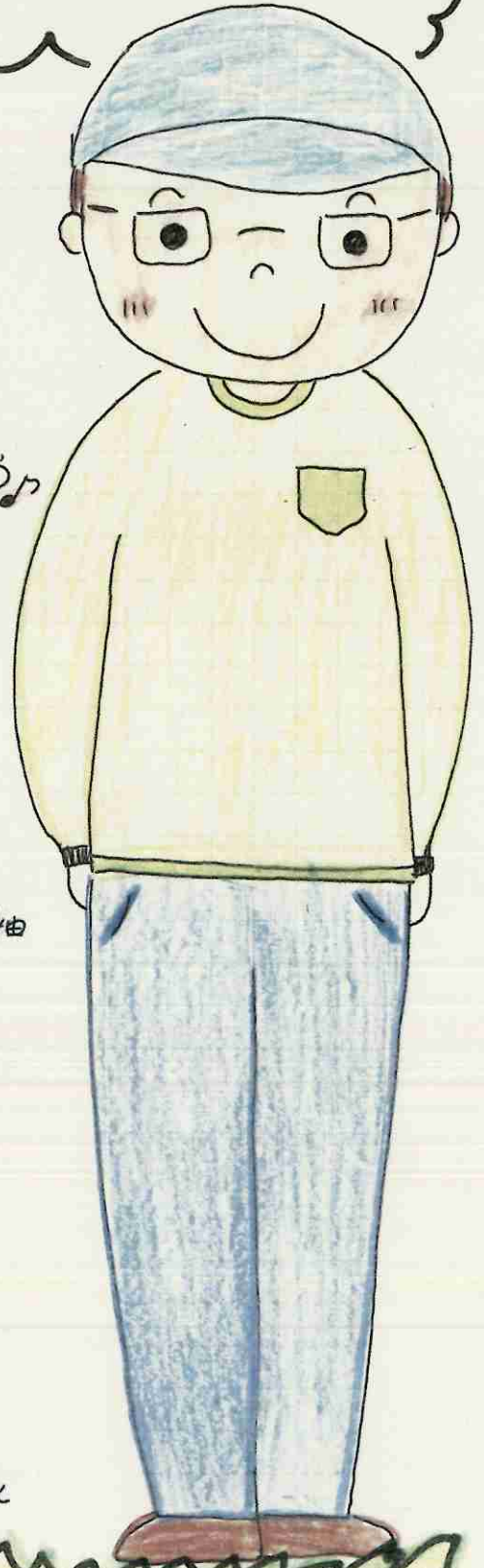
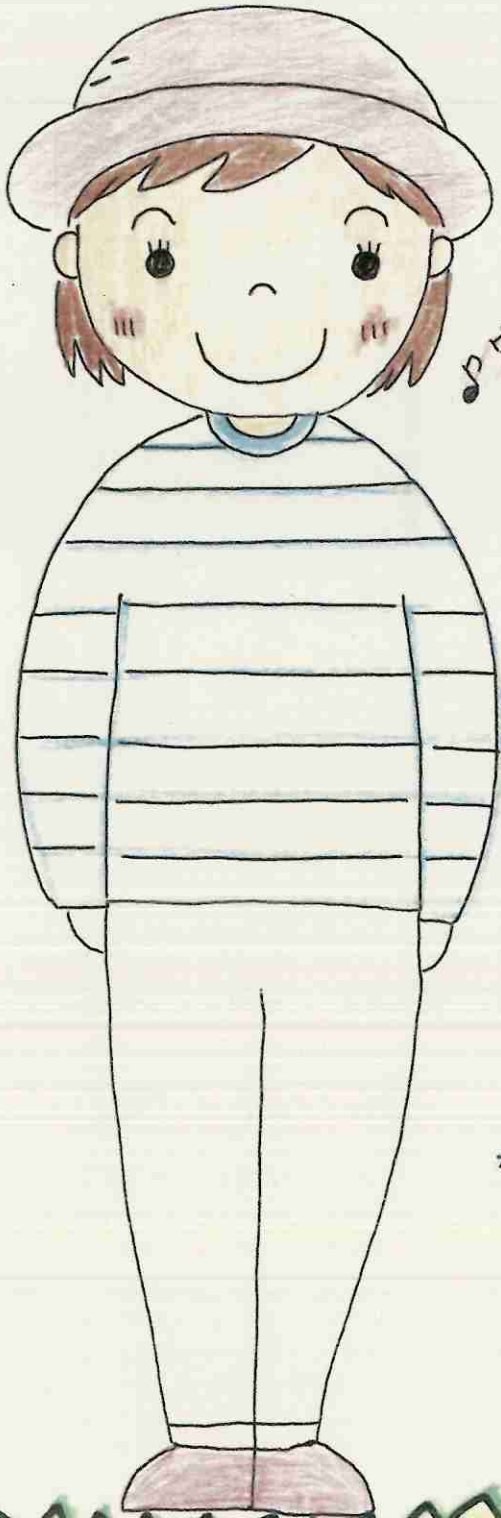


安全ファッション

- ✦ 刈り時の事故から、手足を保護するために運動靴や軍手を着用するよ。
- ✦ 夏の暑い日は、熱中症と日焼け予防に帽子をかぶるよ。水筒と汗拭きタオルも忘れないでね。
- ✦ 虫刺れ防止のため、できれば長袖・長ズボンを着用してね。



♪安全に楽しく活動していきましょう♪



自分だいすき 友だちいっぱい 緑のしばふの 南鶴牧小学校

校長 関口 寿也

題字の「自分だいすき 友だちいっぱい 緑のしばふの 南鶴牧小学校」は、西門にある看板の言葉です。本校の特色の一つである「緑のしばふ」は、平成20年秋に完成し今年10周年を迎えます。なぜ南鶴牧小にはこんなに広い芝生があるのか…という素朴な疑問より先に、芝生が当たり前となってしまうがちです。改めて歴史を紐解いてみようと思います。



ニュータウン造成以前、現在の大松台小と鶴牧中の辺りは、標高約163mの市内で一番高い場所でした。樹齢500年超の大きな松の木が生えており(落雷が原因で昭和8年に枯死)、一帯は大松台と呼ばれていました。しかし、現在は両校よりも南鶴牧小の方が標高が高くなっています。昭和50年代の造成の際に南鶴牧小の辺りをかなり盛土したためです。校舎建築の際のボーリング調査のサンプル(地下を調べるために掘り出した深さごとの土の見本)が理科室に残っていますが、全9か所中、7か所に埋土の表記がありました。うち5か所は10~20mもの埋土でした。埋めた土は、



雨が降ると吸い込めなくなった水が湖面のように溜まりました(H20.5.20)



排水パイプの実物

確かではありませんがローム質の土のようです。水はけはよくなさそうです。事実、平成12年度は9月30日(土)に運動会が予定されていましたが、当日は雨天で延期。その後、夜中に降雨が2日間続き、日中は晴れ間も出ましたが、雨水を吸い込んだ校庭が泥状になって回復せず、

結局運動会が実施できたのは10月5日(木)になったという記録が残っています。

そこで考えられたのが校庭芝生化です。校庭の改善は、児童や保護者・地域、学校の悲願であったのです。平成20年当時、都内一の5000㎡の広さの芝生化です(芝生の養生期間中の校庭使用のため2000㎡は土の部分を残しました)。芝生化するには校庭を30~60cm掘って砂と排水パイプ(傾斜をつけて簾状に)を入れ、最後に芝を敷きます。水はけは当然向上します。芝生化されたことで怪我が激減し、運動会でも地面からの熱の反射が少なく涼しく、砂塵も舞いません。そして何よりその気持ちのよさ。運動会や体育、休み時間に、裸足で活動することが可能になりました。のびのびとした雰囲気、児童の気持ちの安定にも繋がりました。その波及効果は計り知れません。また、100㎡の雨水タンクを埋設し、スプリンクラーの水として使用しています。環境に配慮した設備にもなりました。水はけの向上ばかりでなく、まさに一転突破の芝生化となったわけです。

芝生化で校庭は改善しましたが、問題は芝生を維持していくことです。5000㎡の芝生といえば、50坪の一戸建てが30軒建つ広さです。並大抵ではないことは容易に想像できます。芝生化される以前から、芝生にするかどうか、芝生にした場合はどう管理していくのかということを保護者・地域の皆様と話し合いを重ねました(なんつるGネットの母体です)。



芝生化後は、なんつるGネットを中心として、おやじの会、鶴牧サッカークラブ、多摩ボーイズ、放課後子供教室、ひまわり、市民環境会議、保護者・地域、市の指定管理業者等の皆様の不断のご協力・ご助力によって、「緑のしばふ」は保たれてきました。本当に感謝に堪えません。ありがとうございます。

学校公開の際に行った芝生管理説明会で、おやじの会の方が、「芝生があることによって地域コミュニティが確立している」と言われていたことは、存外の喜びでもありました。南鶴牧小の芝生は、学校だけのものではありません。鶴牧地区の財産です。皆さんの財産です。その財産によって、子供たちはのびのびと成長することができているのです。「自分だいすき 友だちいっぱい 緑のしばふの 南鶴牧小学校」の実感を、未来の鶴牧の子供たちも味わうことができるよう、今後とも、どうぞよろしく願いいたします。